探究活動・発表機会のポイント

内の世界（自分自身の興味・関心）

外の世界（社会・学術）

発達段階

拡張フェーズ
（価値観の多様化）

テーマの設定
（自己の発見）

具体化・専門化フェーズ
（深める）

発展・再構築フェーズ
（自己の相対化）

内発的動機付けからキャリアの軸形成へ

早い段階で具体化・専門化を行うと、
地域差や家庭のSESの影響が強く出る。

地域、学校外の教育的・人的リソースの活用、外部ロールモデルにより既存の価値観からの脱却や見直しを計る（内の世界を広げる）。

先行研究や事例から自己の興味・関心の社会・学術における位置づけを認識し、テーマに対する知識・理解を深める。

研究・探究の方法（メソッド）作法の実践
社会や学術の広さと深さを理解する。
Standing on the shoulders of Giants.

全国・世界の中で発表を行い、自己及び探究成果を相対化し、再構築へ。

研究・探究の方法（メソッド）作法から共通の言葉を持つ。

教育資源の共有・分配

未来の教室、EdTech等
教育プラットフォーム、民間サービス
他校・地域内、地域間との交流

教育資源の活用・方法の個別最適化

●先行研究・事例
←学校・地域の図書館、博物館等の研究資源に限界がある場合は、オンラインアクセス可能範囲を拡張。当然、実地調査等も実施。
●探究指導力の向上と外部連携。

発表を通して世界を広げ、相対化

高校生国際シンポジウム等の各種発表、審査会
この際自己の発見の有無や動機付けによって効果が大きく異なる。

© 一般社団法人Glocal Academy 2021